

2026 年 5 月 29 日

茨城県つくば市緑ヶ原 4 丁目 13 番地
先進モビリティ株式会社
代表取締役社長 瀬川 雅也

先進モビリティ 自動運転システム「ASM-AD」の次世代モデル 「ASM-A2D」を 2027 年以降に展開予定

～AI 技術の深化とアライアンス戦略により、安全・快適な自動運転の新たな価値を創出～

この度、先進モビリティ株式会社(本社:茨城県つくば市、代表取締役社長:瀬川雅也)(以下「当社」)は、当社が提供する自動運転システム「ASM-AD」を大幅に進化させた次世代モデル「ASM-A2D (Advanced Autonomous Driving System:仮称)」を、2027 年以降に順次展開していくことをお知らせいたします。

1. 次世代システム「ASM-A2D」の主な特長

① 認識 AI の継続的高度化

当社が創設以来積み重ねてきた自動運転に関する膨大なデータを最大限に活用し、周囲の環境・状況を認識、推定する AI を継続的にアップデートしてまいります。実走行データに基づく学習サイクルを強化することで、認識・推定精度を向上します。

② 多様な走行環境への対応能力強化

当社の従来システムでは対応が困難であった道路交通環境や遭遇頻度が著しく低い状況に対処するため、新たな AI 基盤エンジンをシステムに追加します。これにより、より幅広いシナリオでの安定した自動走行を実現します。

③ 当社蓄積技術と高度化した AI 技術の戦略的融合

これまで当社が構築してきた自動運転レベル4に対応する走行方法の考え方、法律の遵守と安全の確保を第一とするアルゴリズムと多様な走行環境に対応する高度化した AI 技術を戦略的に融合することで、人と社会に信頼される自動運転システムの実現を目指します。

2. パートナーシップ戦略について

当社は自社開発の深化に加え、自動運転車両の安全性・快適性をさらに高めるべく、多様な分野のパートナー企業とのアライアンス^{*1}を積極的に推進してまいります。技術・サービス双方の観点から連携を強化し、次世代モビリティの普及加速に貢献してまいります。

※1 先進モビリティとパナソニック アドバンステクノロジー、大型車両の自動運転社会実装に向けた技術協力を開始(<https://prtimes.jp/000109020.html>)

3. 今後について

システムの詳細や各バージョンアップの内容につきましては、進捗に応じて随時ご案内いたします。また、最新情報は当社ホームページおよびプレスリリースにてお知らせいたします。

【先進モビリティについて】

先進モビリティ株式会社は、東京大学生産技術研究所の次世代モビリティ連携研究センターの技術を基礎に、バス、トラックなどの大型車両の自動運転技術の事業化による社会貢献を目指すベンチャー企業です。当社が目指す自動運転システムは、様々な道路環境に適応し、安全に自動運行を可能とするシステムです。車両制御、環境認識領域における最新の技術を導入して、目標とする自動運転システムの実現、社会普及を通じて、ドライバー不足や高齢化による公共交通や、物流の維持に関する社会問題の解決に貢献していきます。

【お問い合わせ先】

本件に関するお問い合わせは、下記「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします。

[お問い合わせフォーム](#)

以上